

20211022 令和3年度第1回 適正利用・エコツーリズム検討会議
羅臼昆布の歴史は知床岬にあり - 知床岬 399 番地上陸ツアー -
実施結果報告

【目的】

知床の豊かな海の生態系に支えられて、原生的自然環境の中で生活しながら家族単位で営まれていた、漁業と自然との共生の歴史を町内外に伝えていくこと。

【提案の背景・理由】

知床半島先端部地区は、一般観光やレクリエーション目的の動力船による上陸が認められておらず（「知床岬地区の利用規制指導に関する申し合わせ」）、全く人の立ち入らないイメージがあるが、羅臼町側の海岸線では70年以上前から昆布漁が行われていた。そのため50代以上の地元住民は岬などでの漁労活動を経験しており、知床の自然についての体験を自らの経験から語るができる。

しかし先端部地区の漁家は年々減少しており、将来的にこの地区での漁労活動そのものが見られなくなる可能性があり、それに伴い先端部地区の自然や歴史を知らない地元住民が増えつつある。

これらのことから、観光客並びに地元住民に対して伝統的に続く羅臼の漁業活動を現地で紹介し、知床における人と自然の関わり合いや共生の歴史を後世に伝え継承してゆく必要がある。

※2018年をもって、先端部地区の漁家はなくなった。

【ツアー内容】

- ・ 期間：昆布漁期のうち最大30日間 漁期は概ね7月15日～8月15日
- ・ 場所：羅臼町内（知床岬赤岩地区については磯浜の学習ルート（下図参照）に限る）
- ・ 利用制限：1年間の利用人数を600名（1日1回×最大20名×最大30日）までとする
- ・ 実施体制：

主催者：(株) 知床らうすリンクル、ワイルドライフクルーズ

監修者：一般社団法人 知床羅臼町観光協会

- ・ 役割分担

主催者：ツアーの催行、モニタリングの実施、その他広告・集客等ツアーに関わる全般

監修者：最終承認を受けた際の条件の履行状況の確認及び助言

実施状況及びモニタリングの結果を適正利用エコツーリズム検討会議に報告する

・ ツアースケジュール

平成 30 年度、令和元年度までは 2 日の日程で行い、令和 3 年度からは日程を 1 日に短縮した。

(1) 平成 30 年度・令和元年度実施時

【1 日目】

時間	ツアー内容
13:00 集合	
13:00-14:00 頃	知床羅臼ビジターセンター 映像視聴、館内のジオラマや標本を使用し、知床及び知床岬先端部の利用についてガイドが解説する
14:00-15:00 頃	昆布についてのレクチャー 羅臼町内施設において、羅臼昆布の特徴や漁業の手法、製品化の過程について、ガイド及び漁業者解説により学習する
15:00-16:00 頃	現代番屋見学 市街地地区にある番屋を見学し、乾燥小屋の仕様や番屋内部の温湿度管理の仕組み・機械化についてガイドが解説し学習する

【2 日目】

時間	ツアー内容
7:30 集合	船外機移動
8:00-11:00 頃	相泊港において、ガイドの紹介、赤岩地区までの航路、移動中の注意事項を説明。外来種持ち込み防止の取組について必要性を説明し、全員が靴裏洗浄。 知床の自然及び各地域の特徴、羅臼町で行われている様々な漁について解説しながらの移動。天然昆布漁、養殖昆布漁、小定置網漁など現場を見学しながら解説。 赤岩地区最古の長谷川番屋見学 赤岩上陸後、地域の特徴を再度説明。赤岩で現在移り住んで昆布漁をしている番屋について紹介。行動・携帯トイレ・ヒグマ対策について注意事項を説明・実演し、礫浜を 1 列になって移動。赤岩地区の植生・昔の写真を用いて浜の形状の変化について学習。長谷川番屋前にて当時の昆布漁について解説。長谷川番屋内では、登録ガイドが当時の暮らしや苦労・楽しみなどを語る。
11:30 頃	アンケート記入後、解散

(2) 令和3年度 実施日程変更後 ※新型コロナウイルス感染拡大の為催行なし

【1日目】

時間	ツアー内容
7:30 集合	①船外機移動
8:00-11:00	相泊港において、ガイドの紹介、赤岩地区までの航路、移動中の注意事項を説明。外来種持ち込み防止の取組について必要性を説明し、全員が靴裏洗浄。 知床の自然及び各地域の特徴、羅臼町で行われている様々な漁について解説しながらの移動。天然昆布漁、養殖昆布漁、小定置網漁など現場を見学しながら解説。 ②赤岩地区最古の長谷川番屋見学 赤岩上陸後、地域の特徴を再度説明。赤岩で現在移り住んで昆布漁をしている番屋について紹介。行動・携帯トイレ・ヒグマ対策について注意事項を説明・実演し、礫浜を1列になって移動。赤岩地区の植生・昔の写真を用いて浜の形状の変化について学習。長谷川番屋前にて当時の昆布漁について解説。長谷川番屋内では、登録ガイドが当時の暮らしや苦勞・楽しみなどを語る。
11:30-12:30	③現代番屋見学 市街地地区にある番屋を見学し、乾燥小屋の仕様や番屋内部の温湿度管理の仕組み・機械化についてガイドが解説し学習する
13:00-14:00	昼食
14:30 頃	昆布倉庫見学 ※コロナの影響で変更有り
15:00-16:00	⑤知床羅臼ビジターセンター 映像視聴、館内のジオラマや標本を使用し、知床及び知床岬先端部の利用についてガイドが解説する ⑥昆布についてのレクチャー 羅臼町内施設において、羅臼昆布の特徴や漁業の手法、製品化の過程について、ガイド及び漁業者解説により学習する
16:00 頃	アンケート記入後 解散

【実績と成果】

1-1 5年間の回数と人数

平成 29年	実施なし 許可が下りてからPRまでに時間がなかった為
平成 30年	実施回数8回：参加者数68名・添乗員5名・町民2名・関係者11名
令和 元年	実施回数3回：参加者数20名・添乗員1名・取材6名
令和 2年	実施なし 新型コロナウイルス感染拡大防止により中止
令和 3年	実施無し 新型コロナウイルス感染拡大防止により中止

(1) 平成30年度実施日及び参加者

○1回目 7.23～7.24

参加者数 13名 (ほか添乗員1名)

主催者側 ガイド (船頭含む) 6名

○2回目 7.24～7.25

参加者数 7名 (ほか添乗員1名)、町民参加者1名、関係者1名、

主催者側 ガイド (船頭含む) 3名

○3回目 7.27～7.28

参加者数 3名、町民参加者、関係者2名

主催者側 ガイド (船頭含む) 3名

○4回目 7.28～7.29

参加者数 16名 (添乗員1名)、町民参加者1名、関係者1名、

主催者側 ガイド (船頭含む) 4名

○5回目 7.29～7.30

参加者数 9名

主催者側 ガイド (船頭含む) 2名

○6回目 7.31～8.1

参加者数 14名 (添乗員1名)、関係者2名、

主催者側 ガイド (船頭含む) 4名

○7回目 8.5～8.6

参加者数 4名 (添乗員1名)、関係者3名、

主催者側 ガイド (船頭含む) 4名

○8回目 8.13～8.14

参加者数 2名、関係者2名、

主催者側 ガイド (船頭含む) 4名

- 実施回数計8回 参加者数68名 (ほか添乗員5名)、町民参加者2名、
関係者参加者11名

(2) 令和元年度実施日及び参加者

○1回目 2019.7.20～7.21

参加者数 4名

主催者側 ガイド（船頭・同行者含む） 4名

※同行者：川端さん

○2回目 2019.7.26～7.27

参加者数 13名（ほか添乗員 1名、撮影・取材 4名）

主催者側 ガイド（船頭・同行者含む） 6名

※同行者：川端さん、鈴木さん

○3回目 2019.7.30～7.31

参加者数 3名（ほか撮影・取材 2名）

主催者側 ガイド（船頭・同行者含む） 6名

※同行者：川端さん、鈴木さん

●実施回数計 3回 参加者数 20名（ほか添乗員 1名）、取材関係者 6名

1-2 事業収支

ツアー1回にかかる経費	内容	価格
①ガイド料	メインガイド・サポートガイド・登録ガイド	23750
②使用料	昆布番屋謝礼・施設利用料・船舶利用料	28220
③需用費	携帯トイレ・昆布スープなど	10000
④燃料費	ガソリン代	16000
⑤通信費	衛星携帯電話基本使用料	5000
	合計	82970
③その他（初期費用）	内容	価格
H27	衛星電話ほか	100000
	合計	

1-3 モニタリング等の結果

・地域内の合意形成：

平成 29 年に「知床岬赤岩地区羅臼昆布エコツアー地域意見交換会」を行った。

羅臼郷土写真展「The Last Kelp Harvesting 知床岬の昆布漁」等、町民向けの普及啓発を実施した。

・ ツアーのモニタリング：

別紙利用者アンケート（資料4 別紙2-2）のとおり。

・ 植生状況モニタリング：

平成26年から平成28年まで8月に実施。

3年間の調査を比較した結果、通行路に関してはほぼ同じ植生であり変化は確認できなかった。また平成26年の調査の結果、ツアー客が通行した箇所にはほとんど植物は無く、植生への影響があるとは考えにくく、むしろ外来種侵入の予防を徹底した方が良いと判断された。

これらを受け、以降もツアー主催者が植生の踏みつけに対する啓発や足裏等に付着し持ち込まれる可能性のある植物の種を排除する対策も行ったことから、ツアーによる植生への影響は最小限と考えられる。

・ 知床半島利用者モニタリング：

「知床半島先端部地区の利用に関するアンケート 集計結果」（資料4 別紙2-3）のとおり。

赤岩昆布ツアーの認知度に改善の余地が見られたが、ツアーそのものにかかる否定的な意見は少なかった。

・ ツアーのプロモーション：

歴史や文化を学ぶツアーを展開する旅行会社へのプロモーションを重点的に行った。

1-4 ツアー実施にかかる条件とそれらへの対応

【赤岩ツアー条件とその整理】のとおり。

【課題整理と今後】

平成30年～令和2年まではツアー行程を2日間として募集、実施を行った。しかし旅行会社や一般利用者から、「このツアーに参加するために半日ずつ2日間に分けると町内の他のアクティビティが体験できない」旨の意見が多くあった為、令和3年より、内容は変更せず行程を1日に変更して実施することとした。また歴史や文化を学ぶツアーを展開する旅行会社へのプロモーションを重点的に行った。

令和2年、3年においては、新型コロナウイルス感染防止の観点より募集を中止することになった。

収支については、小型船の利用の他、先端部地区番屋ガイド、組合昆布倉庫見学など地域の人との関りが大きな役目を果たし、雇用にも繋がった。しかし、催行人数が少人数だと収支が難しく課題が残った。

【赤岩ツアー条件とその整理】

番号	条件	評価：内容
1	当該ツアーに対する地域内（羅臼町民）の合意形成を図ること。特に一般羅臼町民と意見交換して判断材料とすること	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年に「知床岬赤岩地区羅臼昆布エコツアー地域意見交換会」を行った。 ・町民向けモニターツアーや郷土写真展等を実施した。 ・羅臼町教育委員会事業「知床キッズ」との連携を検討した（予算面で実施はできなかった）。
2	経営的な持続可能性を示すこと。現実に即した計画（経営上の試算結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・2 日間の行程では集客が難しかった。 ・H30 年、R 元年度の実施形態では経営が難しかった。
3	1 回 20 名、最大 30 日という人数制限を継続すること	<ul style="list-style-type: none"> ・H30 年度 1 日最大 16 名 実施日数 8 日 ・R 元年度 1 日最大 13 名 実施日数 3 日
4	モニタリング（植生状況、トレッカーアンケート）を継続すること。特に先端部の先行利用者であるトレッカーの意見を集めること	<ul style="list-style-type: none"> ・1-3 モニタリング等の結果を参照。 ・トレッカーの意見について、赤岩昆布ツアーの認知度に改善の余地が見られたが、ツアーそのものにかかる否定的な意見は少なかった。
5	原生自然と文化をセットとしたセールス及びツアーのブランド化を行うこと	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史や文化を学ぶツアーを展開する旅行会社へのプロモーションを行った。 ・ツアー内容においては、昆布を中心として文化や自然を広く伝えた。
6	5 年間の期限付きとする。先進的なツアーであるが、5 年間で先端部の利用について合意形成や環境整備を図ることが条件であり、5 年後にツアー催行結果や合意形成状況も加味して再度ツアーの是非を検討する	<ul style="list-style-type: none"> ・H29 年 ツアー準備 ・H30 年 R 元年 ツアー実施 ・R2 年 R3 年 新型コロナウイルス感染拡大の観点より中止 ツアー日程変更後のプログラムでは募集、実施ができていない。また令和 3 年度より設立された知床羅臼ヒグマボートクルーズ船協議会と連携を図った。

平成30年度 知床岬399番地上陸ツアー 実施報告とアンケート結果

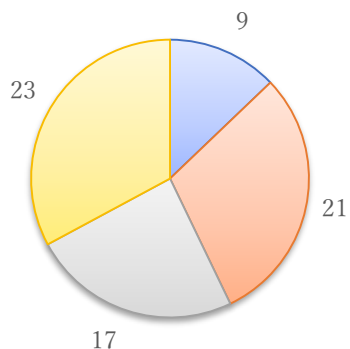
知床羅臼町観光協会

(1) 実施日及び参加者

- 1回目 7.23～7.24
参加者数 13名（ほか添乗員1名）
主催者側 ガイド（船頭含む）6名
 - 2回目 7.24～7.25
参加者数 7名（ほか添乗員1名）、町民参加者1名、関係者1名、
主催者側 ガイド（船頭含む）3名
 - 3回目 7.27～7.28
参加者数 3名、町民参加者、関係者2名
主催者側 ガイド（船頭含む）3名
 - 4回目 7.28～7.29
参加者数 16名（添乗員1名）、町民参加者1名、関係者1名、
主催者側 ガイド（船頭含む）4名
 - 5回目 7.29～7.30
参加者数 9名
主催者側 ガイド（船頭含む）2名
 - 6回目 7.31～8.1
参加者数 14名（添乗員1名）、関係者2名、
主催者側 ガイド（船頭含む）4名
 - 7回目 8.5～8.6
参加者数 4名（添乗員1名）、関係者3名、
主催者側 ガイド（船頭含む）4名
 - 8回目 8.13～8.14
参加者数 2名、関係者2名、
主催者側 ガイド（船頭含む）4名
- 実施回数計8回 参加者数68名（ほか添乗員5名）、町民参加者2名、
関係者参加者11名

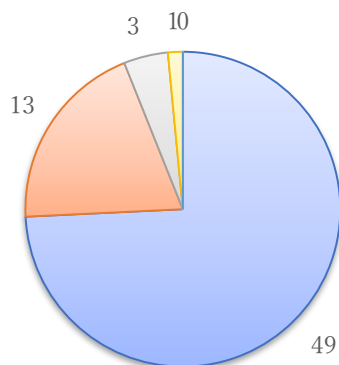
(2)アンケート調査について 回答者 71名 複数回答あり

Q1:このツアーになぜ参加しようと思われましたか？



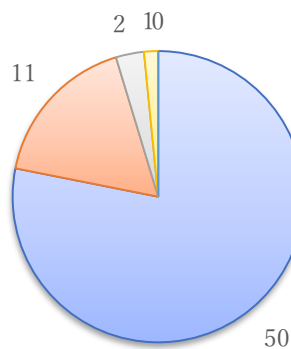
- 1. 羅臼昆布の歴史について知りたかった
- 2. 知床についてじっくり学びたかった
- 3. 赤岩地区の番屋を見てみたかった
- 4. 赤岩地区に上陸したかった

Q2：羅臼地区 羅臼ビジターセンター



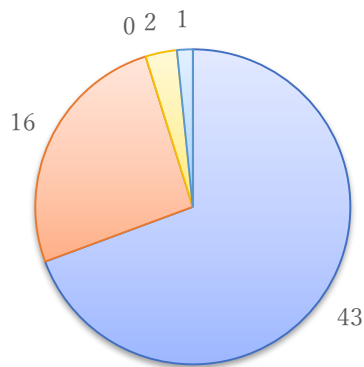
- 1. 満足
- 2. やや満足
- 3. どちらでもない
- 4. やや不満足
- 5. 不満足

Q3:羅臼地区 昆布のレクチャーの満足度



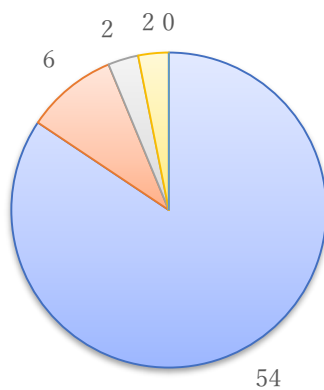
- 1. 満足
- 2. やや満足
- 3. どちらでもない
- 4. やや不満足
- 5. 不満足

Q4:羅臼地区 昆布番屋見学の満足度



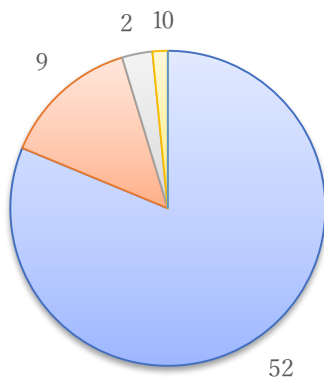
■ 1.満足 ■ 2.やや満足 ■ 3.どちらでもない ■ 4.やや不満足 ■ 5.不満足

Q5:船外機での移動



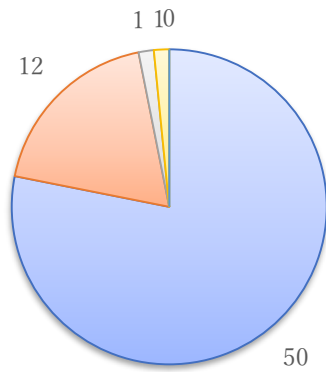
■ 1.満足 ■ 2.やや満足 ■ 3.どちらでもない ■ 4.やや不満足 ■ 5.不満足

Q6:知床岬399番地に上陸 長谷川番屋見学



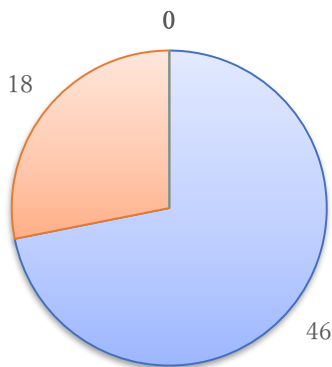
■ 1.満足 ■ 2.やや満足 ■ 3.どちらでもない ■ 4.やや不満足 ■ 5.不満足

Q7: ツアー全体の満足度



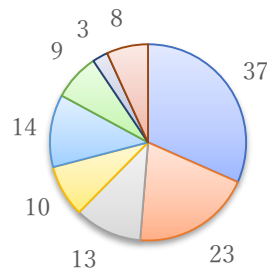
■ 1.満足 ■ 2.やや満足 ■ 3.どちらでもない ■ 4.やや不満 ■ 5.不満

Q8: 羅臼昆布への関心



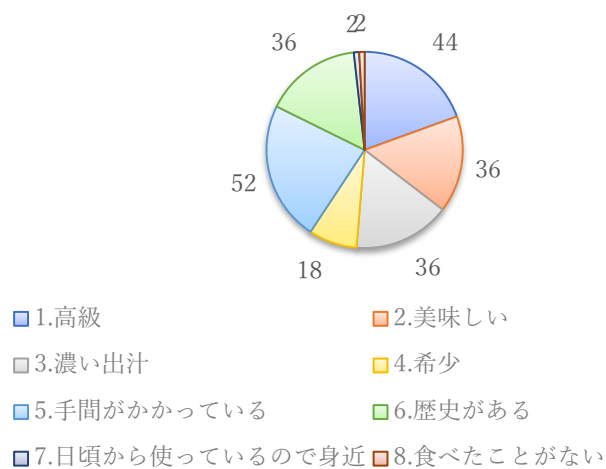
■ 1.深まった ■ 2.やや深まった ■ 3.どちらでもない ■ 4.あまり深まらない ■ 5.深まらない

Q9: ツアーに参加する前の羅臼昆布のイメージ

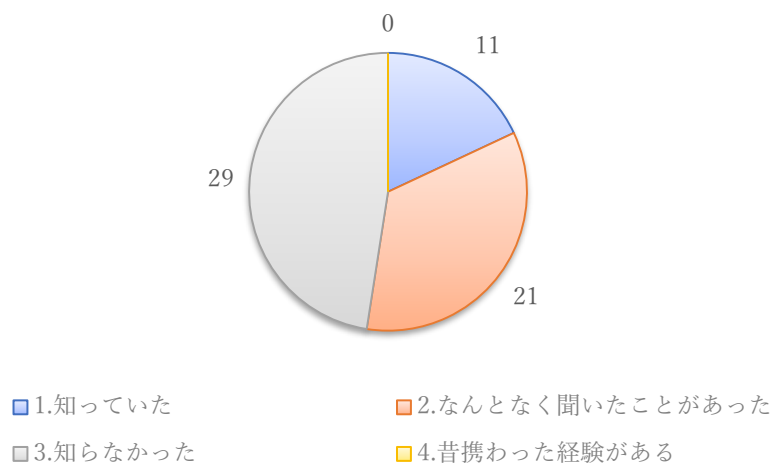


■ 1.高級 ■ 2.美味しい
 ■ 3.濃い出汁 ■ 4.希少
 ■ 5.手間がかかっている ■ 6.歴史がある
 ■ 7.日頃から使っているので身近 ■ 8.食べたことがない

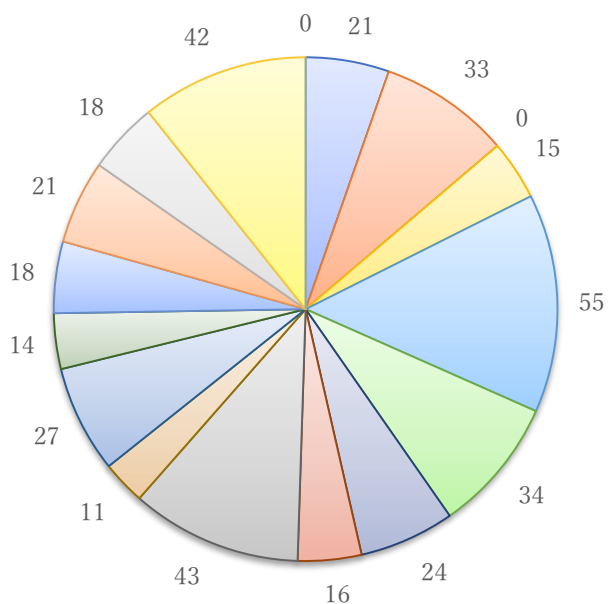
Q10: ツアーに参加した後の羅臼昆布のイメージ



Q11: 昔から羅臼昆布漁が営まれていたこと

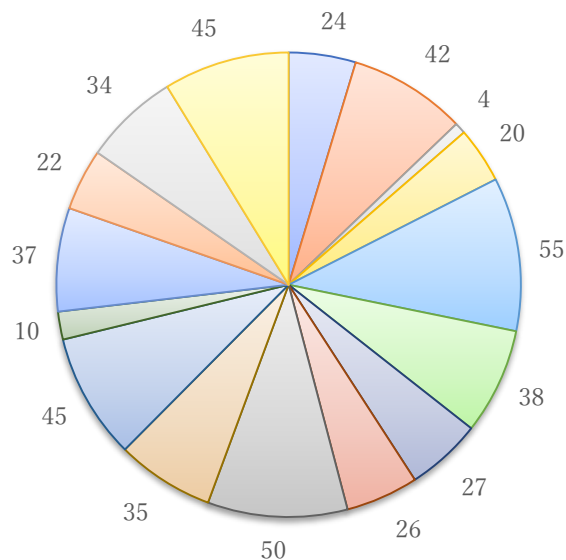


Q12:ツアーに参加する前、あなたが「知床の価値」だとおもっていたこと



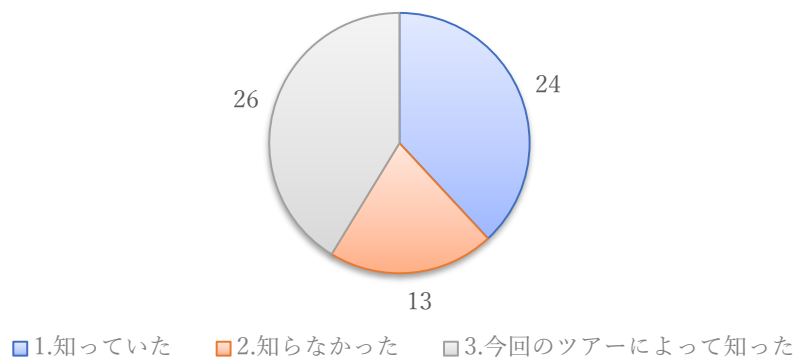
- 1. 温泉
- 2. 海産物
- 3. 宿泊施設
- 4. 登山やカヤックなどのアウトドア体験
- 5. 世界自然遺産であること
- 6. 滝や湖などの自然美
- 7. クリオネからクジラまでの豊かな海洋生物層
- 8. 魚が自然産卵を行い命の循環がみられる河川
- 9. 海・川・森のつながりによる原生的な動物群集・大型野生動物・希少生物
- 10. 農業や漁業の営みの歴史・風景
- 11. 自然と共に生きる人々との交流
- 12. アイヌ文化を今に伝える地名や伝承
- 13. 本来の生態系を守るとりくみ
- 14. 秘境感・孤独感・静寂性
- 15. 日本最北東端での達成感・到達感

Q13: ツアーに参加した後、あなたが「知床の価値」
 だと思うこと

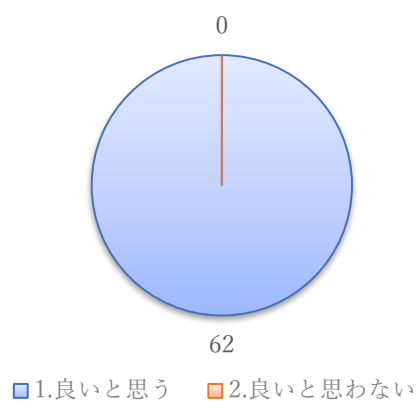


- 1. 温泉
- 2. 海産物
- 3. 宿泊施設
- 4. 登山やカヤックなどのアウトドア体験
- 5. 世界自然遺産であること
- 6. 滝や湖などの自然美
- 7. クリオネからクジラまでの豊かな海洋生物層
- 8. 魚が自然産卵を行い命の循環がみられる河川
- 9. 海・川・森のつながりによる原生的な動物群集・大型野生動物・希少生物
- 10. 農業や漁業の営みの歴史・風景
- 11. 自然と共に生きる人々との交流
- 12. アイヌ文化を今に伝える地名や伝承
- 13. 本来の生態系を守るとりくみ
- 14. 秘境感・孤独感・静寂性
- 15. 日本最北東端での達成感・到達感

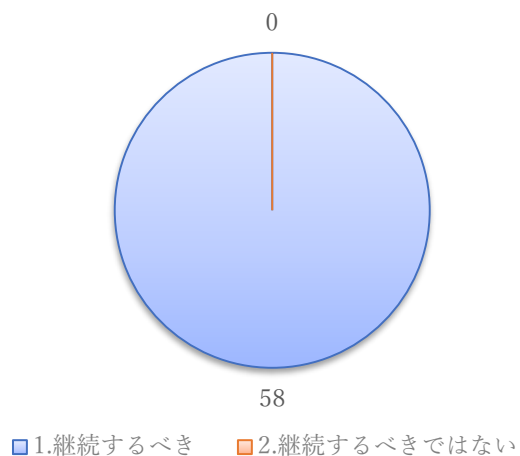
Q14 知床岬地区利用規制指導に関する申し合わせ
を知っていますか



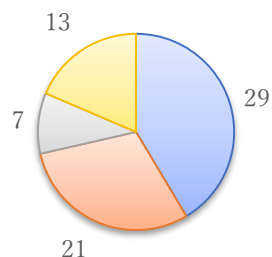
Q15:今回のツアーを羅臼昆布漁の歴史・文化を伝える
ために実施



Q16:今後このツアーを継続することについて

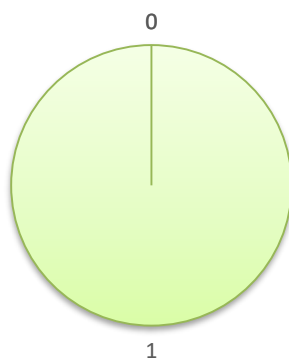


Q17:Q16で継続すべきと答えたその理由



- 1. 羅臼昆布の産業文化・歴史を伝承すべき
- 2. 自然との共生の文化歴史を伝承した方がよい
- 3. 羅臼昆布の事がより深く理解されるから
- 4. 知床の本来の姿を理解されるから

Q18:Q16で伝承するべきではないと答えたその理由



- 1. あえて先端部に行かなくてもよい
- 2. 先端部の秘境のイメージが崩れるから
- 3. 上陸によって自然に影響を及ぼすから

Q19: このツアーで良かった点

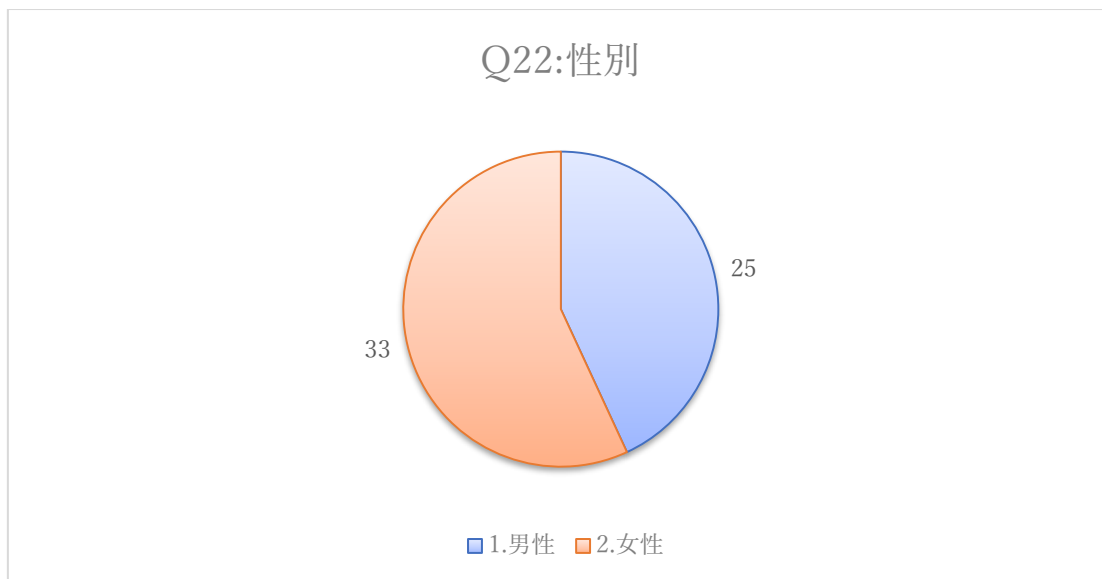
- ・ スタッフの方々、漁師さん、ツアーに関わった皆さんが知床・羅臼を愛し誇りに思っていること。課題を認識して、それを解決し、将来に継承しようとしていること、その努力、現実を知ることができた。
- ・ 先端までの距離、船上で漁師さんの思いを考えたり、ヒグマの様子をみながら自分が大自然の1部という感じがしました。昆布のこと、留守の産業文化の歴史を学べて本当によかったです。
- ・ 知床ならではの環境と文化によって育まれた生活の深みにふれられた点。
自然と文化、動物と人間のかかわりをよく分かりました！
- ・ スタッフの方々、漁師さん、ツアーに関わった皆さんが知床・羅臼を愛し誇りに思っていること。課題を認識して、それを解決し、将来に継承しようとしていること、その努力、現実を知ることができた。

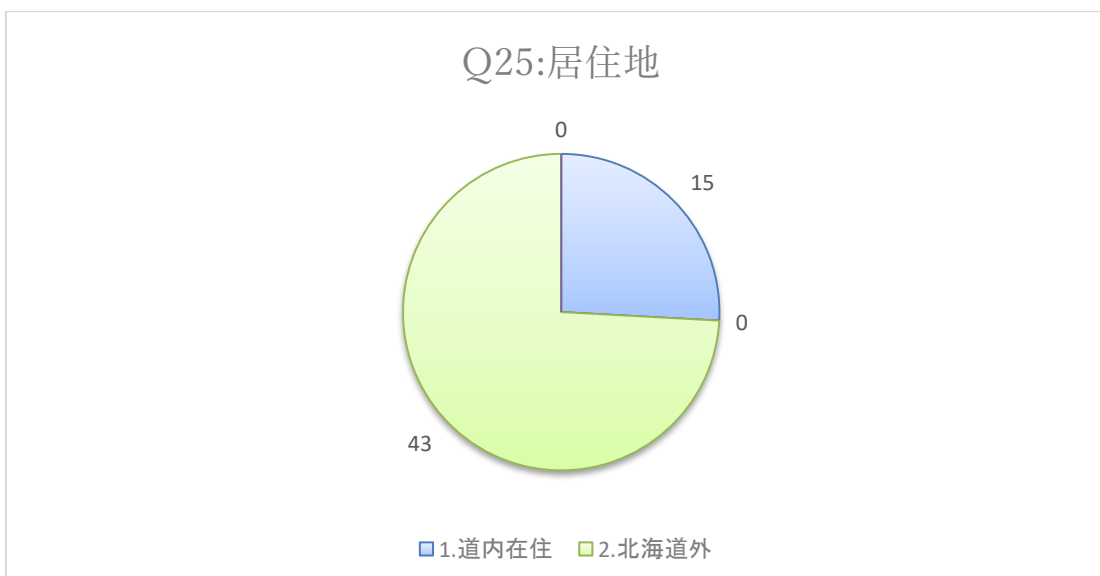
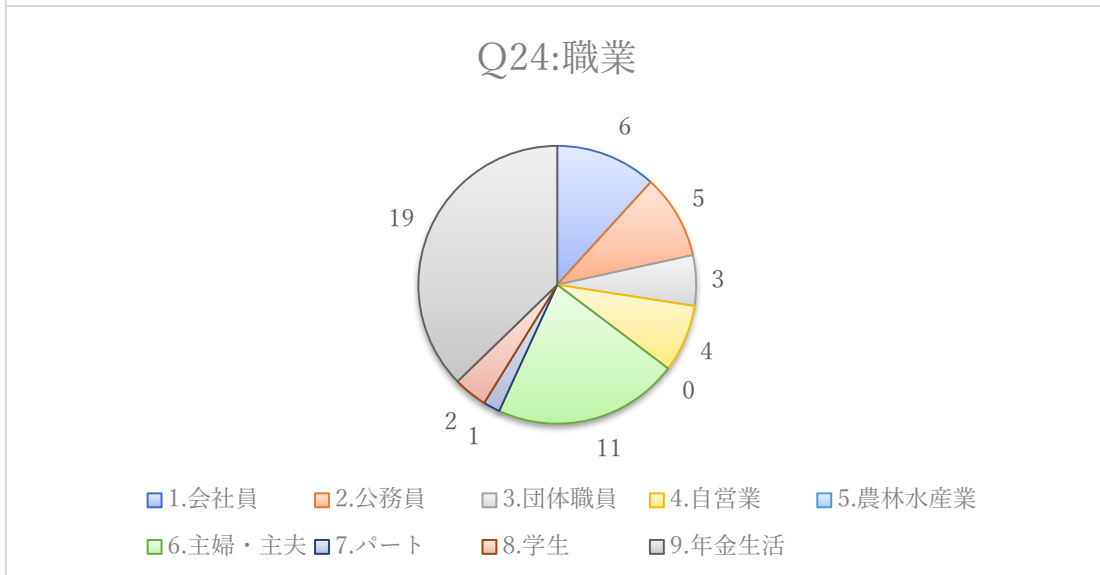
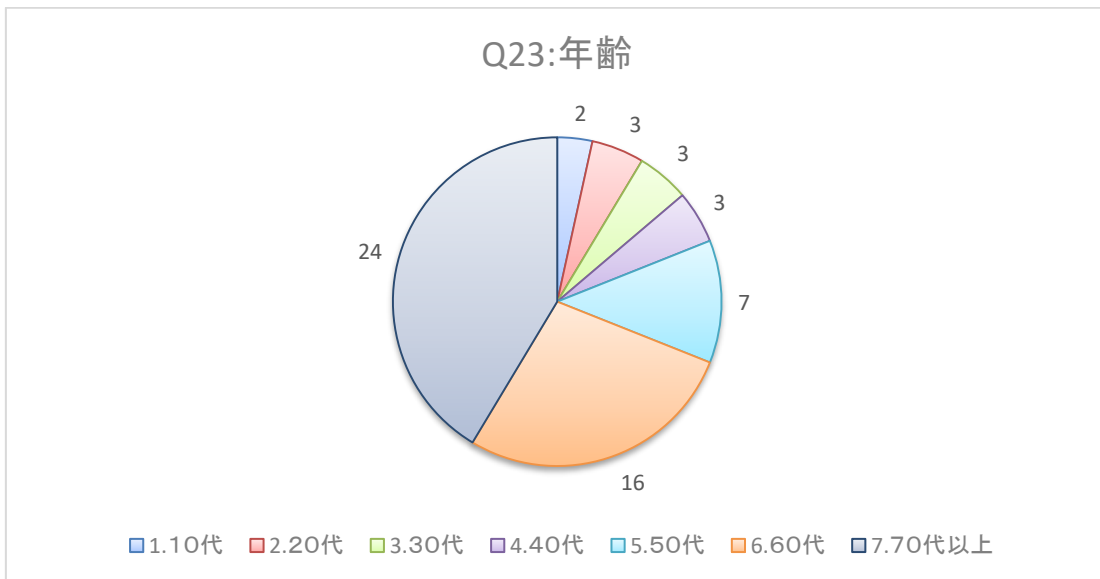
Q20:このツアーで悪かった点・改善点

- ・道の駅集合～解散までの二次交通（送迎）があった方が良い
- ・船に乗る時レンタル服がある事知らなかった。知っていれば心配しなくてもいいし荷物も少なくてすんだ。

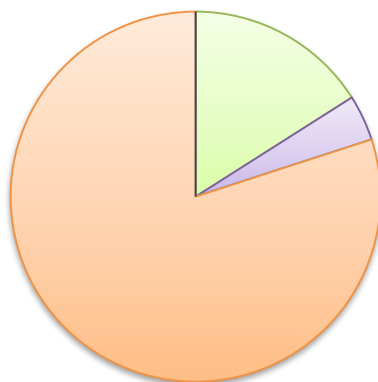
Q21: 知床岬 399 番地上陸ツアーについて率直な感想

- ・個人では上陸できない場所。番屋、先人の生活様式を見ることができた。良かった。
- ・普段体験できないことを体験させてもらえるすばらしいツアー。羅臼のことについて深く学ぶ事ができました。
- ・この歴史を多くの人々に知ってもらう為、今後も継続し続けて欲しい。
- ・気温の差にびっくり。現地に行かないとわからない。
- ・知床を知ってもらうとても良い企画だと思います。ぜひ今後も続けて頂ければと思います。（ご苦勞も多いと思いますが…）・一方、観光目的での入境がなし崩し的に増え、自然環境への悪影響が出ないように、留意頂きたいと感じました。



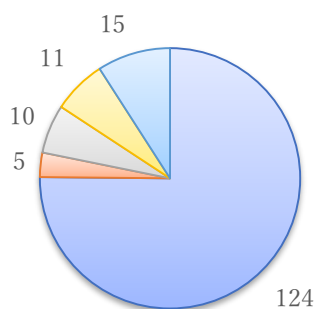


Q26:このツアーを何で申し込みましたか？



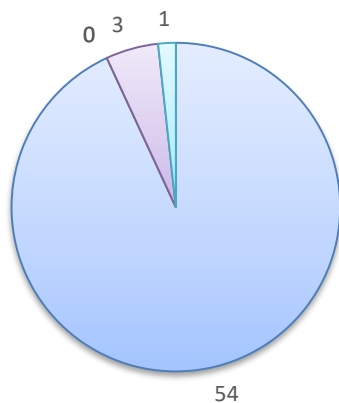
1.新聞 2.テレビ 3.インターネット 4.口コミ 5.ポスター 6.旅行会社 7.その他

Q27:知床（羅臼・ウトロ）に来たのは何回目ですか



5日目以上 4日目 3日目 2日目 1日目

Q28:昨日はどこに泊まりましたか



1.宿 1.宿() 2.車中 3.自宅 4.その他

令和元年度 知床岬399番地上陸ツアー 実施報告とアンケート結果

知床羅臼町観光協会

(1) 実施日及び参加者

○ 1回目 7.20～7.21

参加者数 4名

主催者側 ガイド（船頭・同行者含む） 4名

※同行者：川端さん

○ 2回目 7.26～7.27

参加者数 13名（ほか添乗員1名、撮影・取材4名）

主催者側 ガイド（船頭・同行者含む） 6名

※同行者：川端さん、鈴木さん

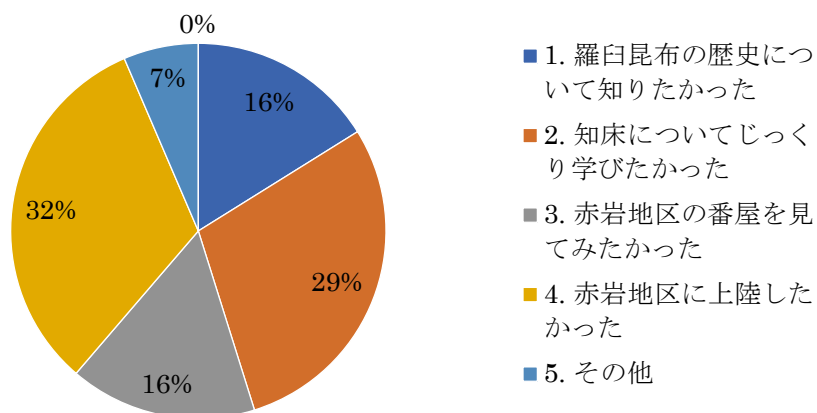
○ 3回目 7.30～7.31

参加者数 3名（ほか撮影・取材2名）

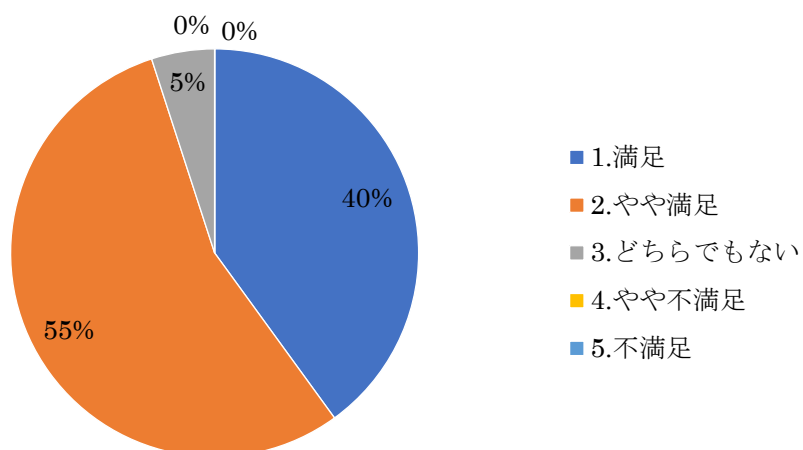
主催者側 ガイド（船頭・同行者含む） 6名

※同行者：川端さん、鈴木さん

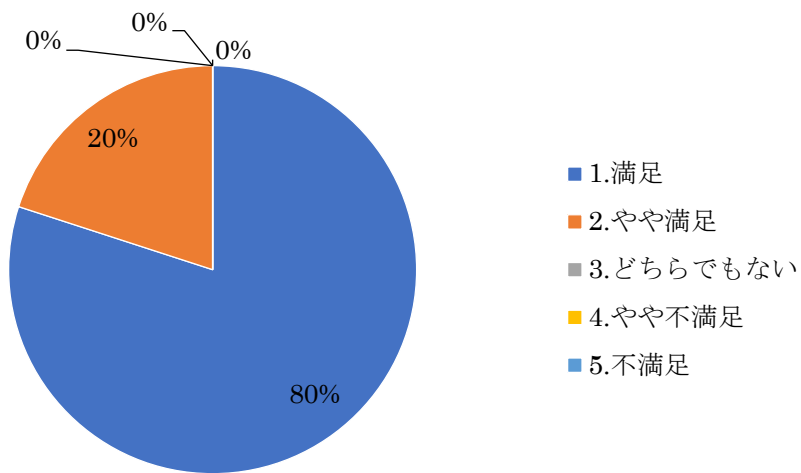
Q1 このツアーになぜ参加しようと思いましたか？



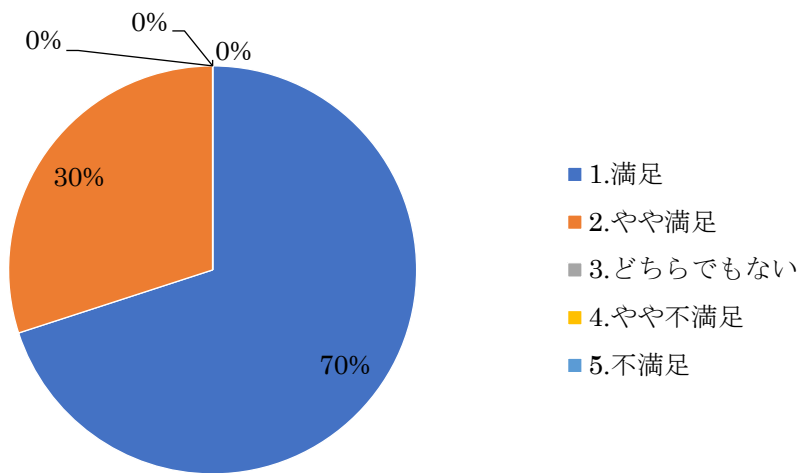
Q2 1日目の羅臼地区の羅臼ビジターセンターの満足度

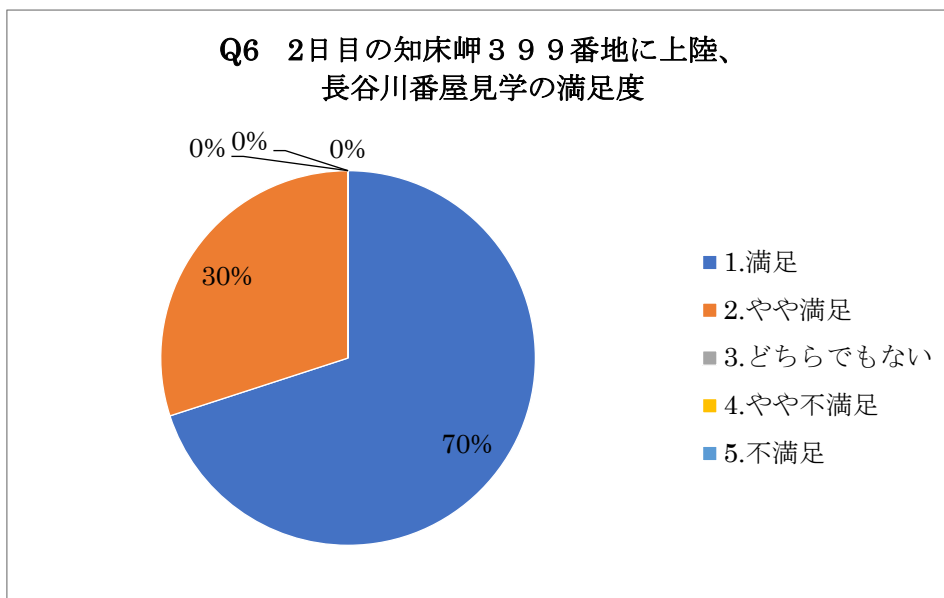
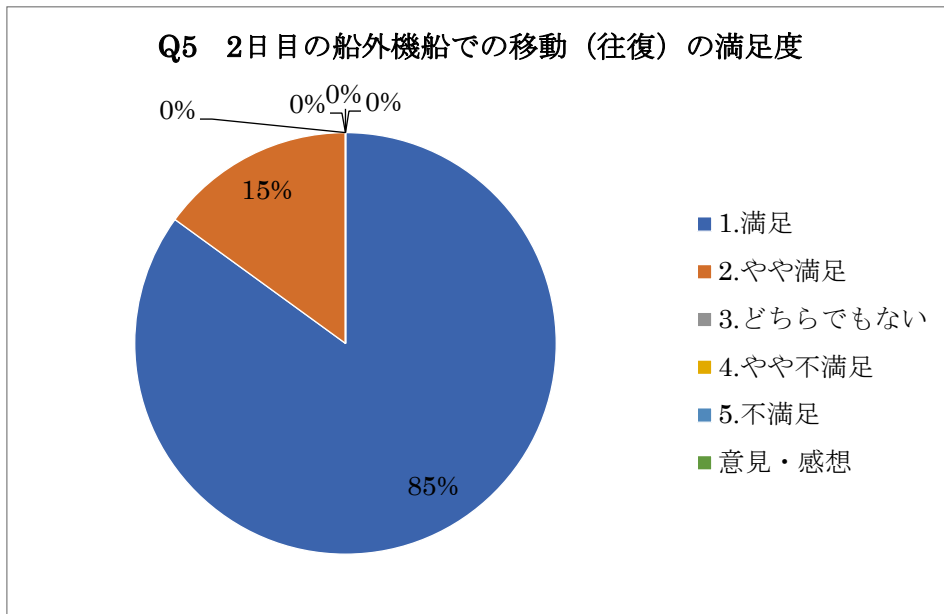


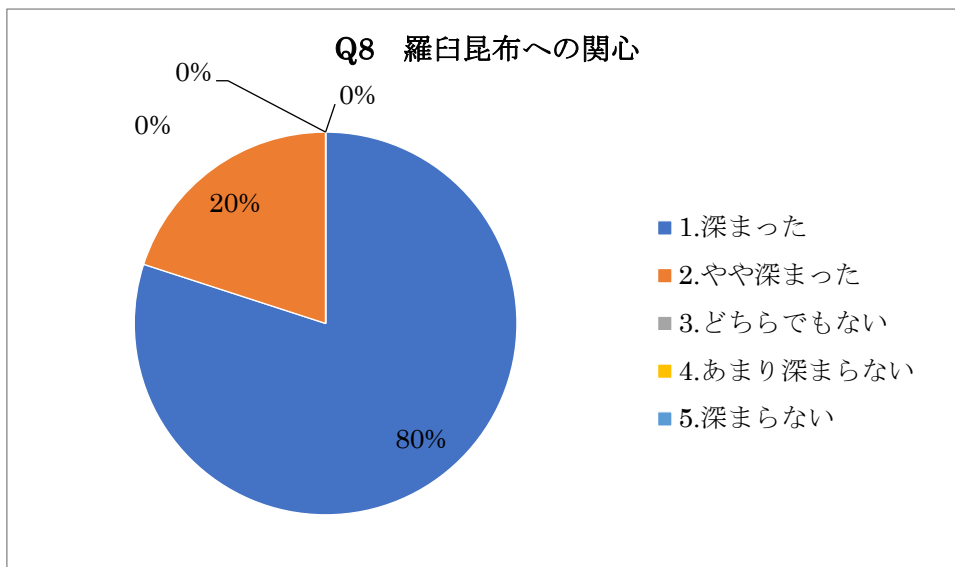
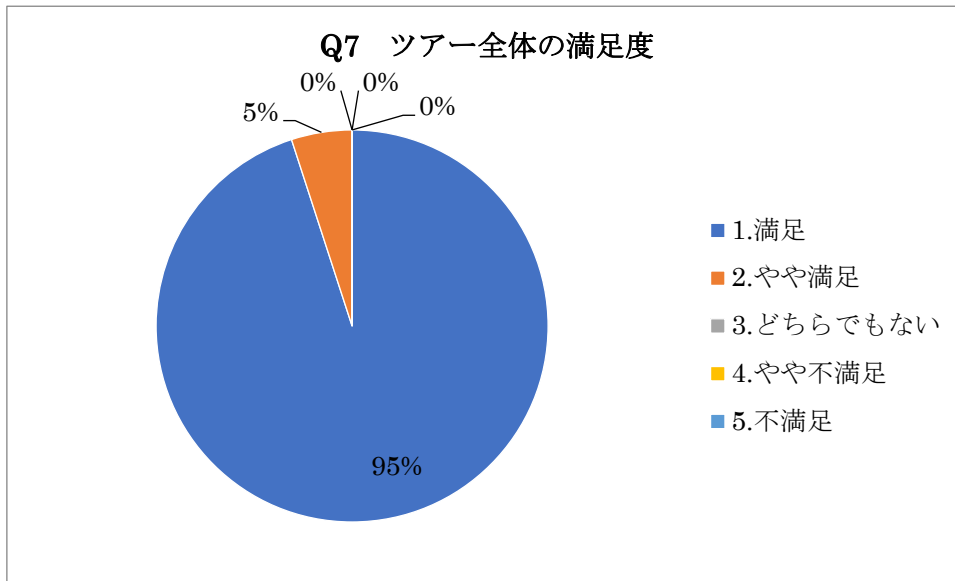
Q3 1日目の羅臼地区の昆布のレクチャーの満足度



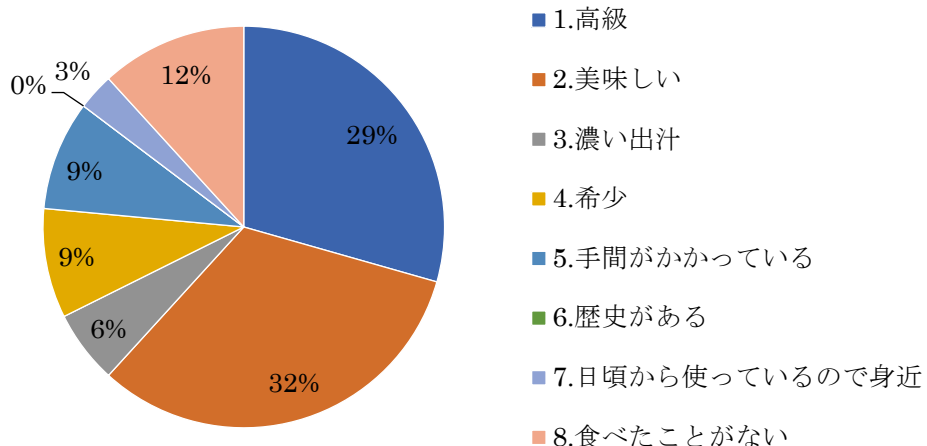
Q4 1日目の羅臼地区の羅臼昆布番屋見学の満足度



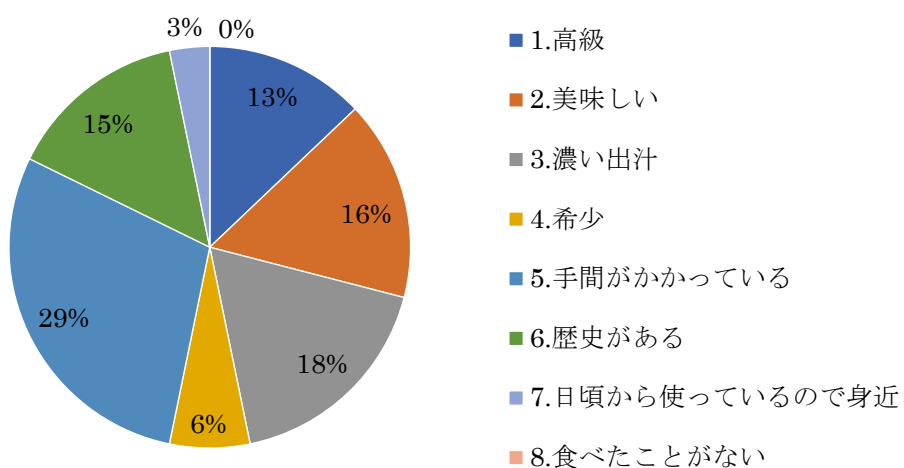




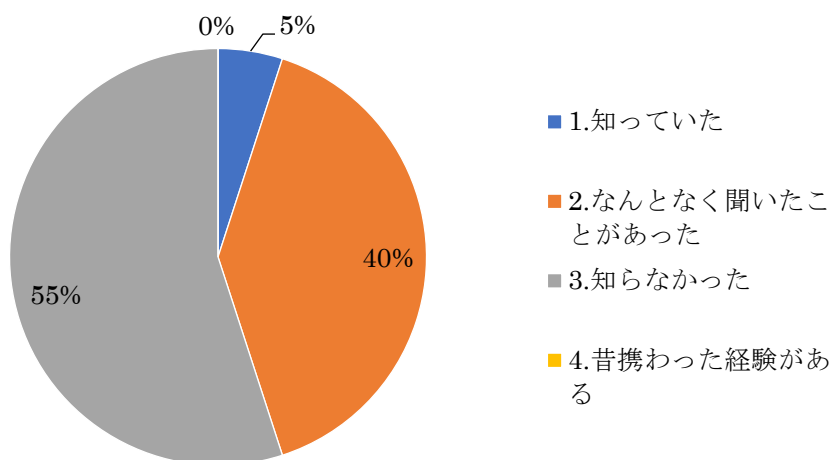
Q9 ツアーに参加する前の羅臼昆布のイメージ



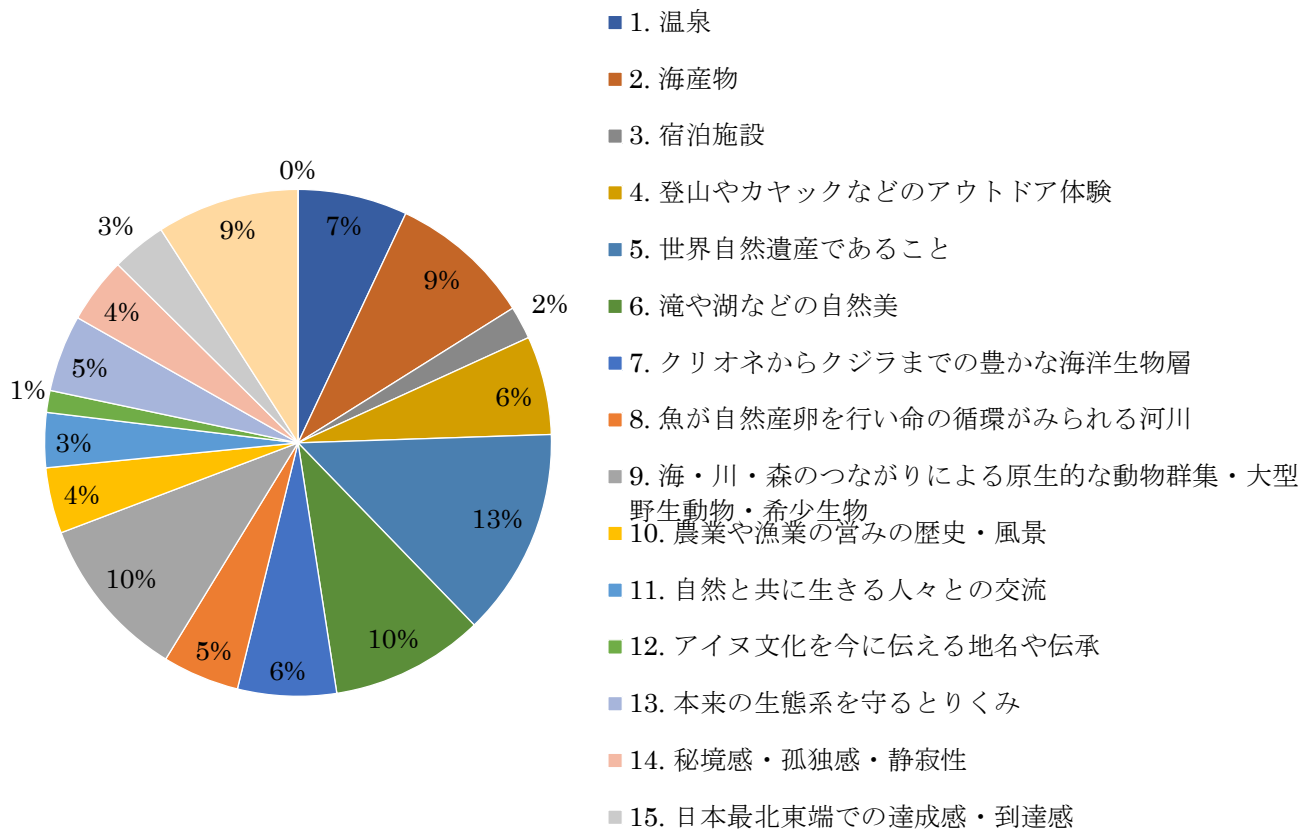
Q10 ツアーに参加した後の羅臼昆布のイメージ



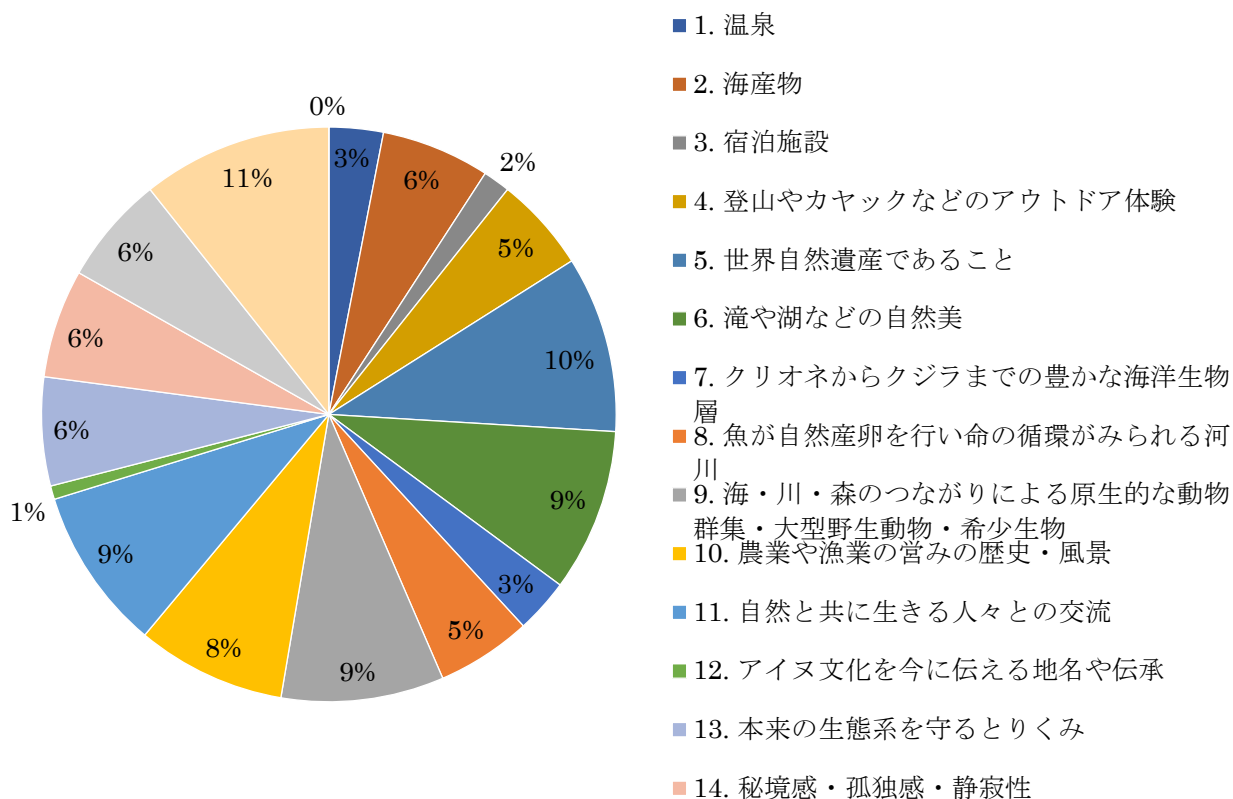
Q11 昔から羅臼昆布漁が営まれていたこと



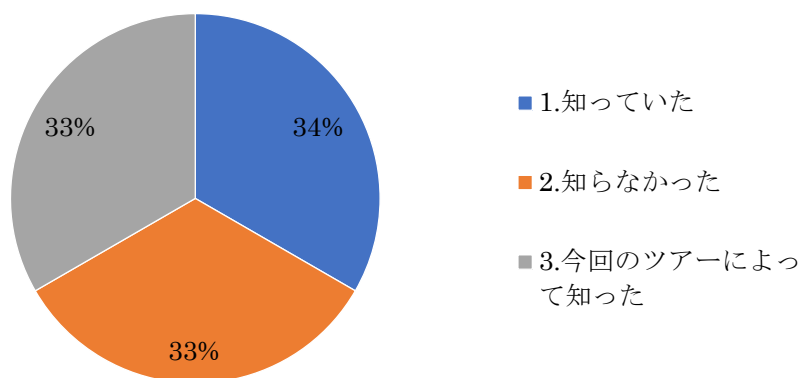
Q12 ツアーに参加する前、あなたが「知床の価値」だと思っていたこと



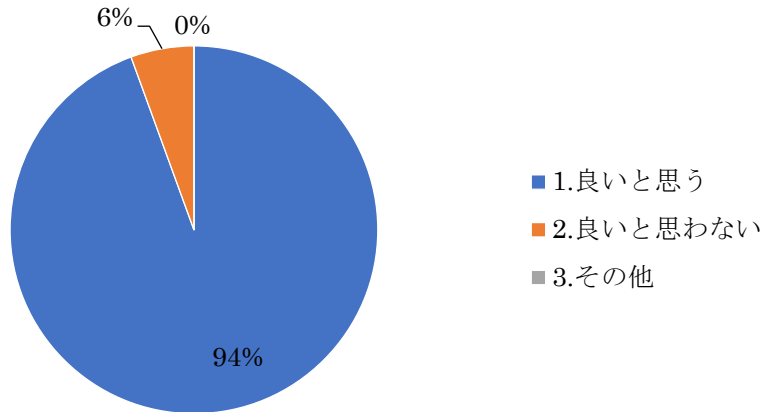
Q13 ツアーに参加した後、あなたが「知床の価値」だと思うこと



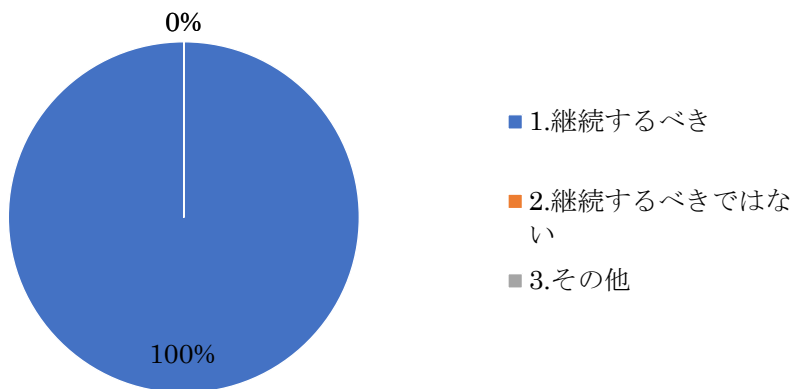
Q14 知床岬地区利用規制指導に関する申し合わせを知っていましたか？



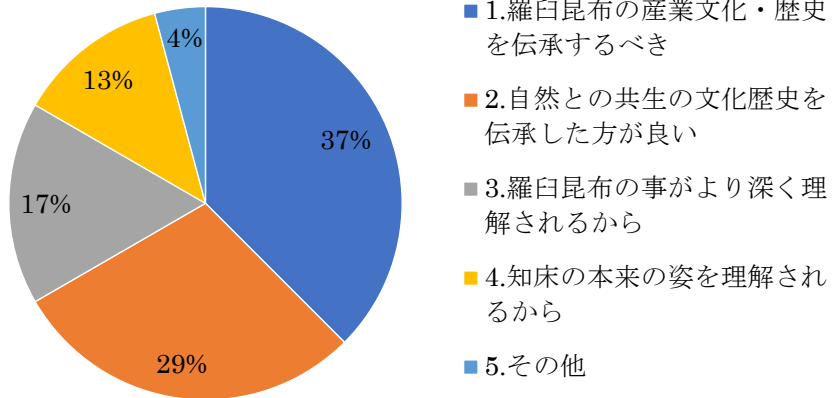
Q15 今回のツアーを羅臼昆布漁の歴史・文化を伝えるために実施することについて



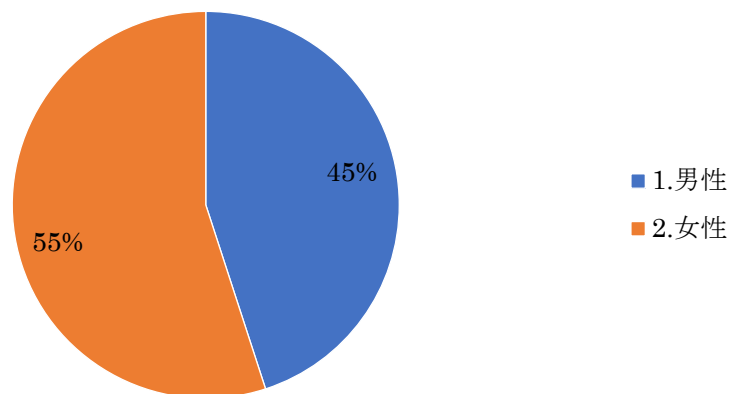
Q16 今回のツアーを今後このツアーを継続することについて

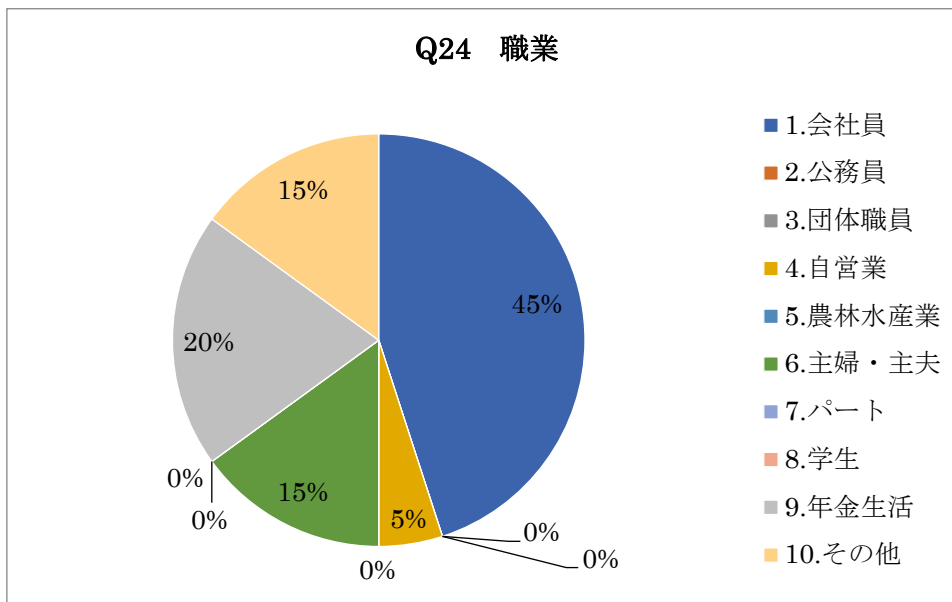
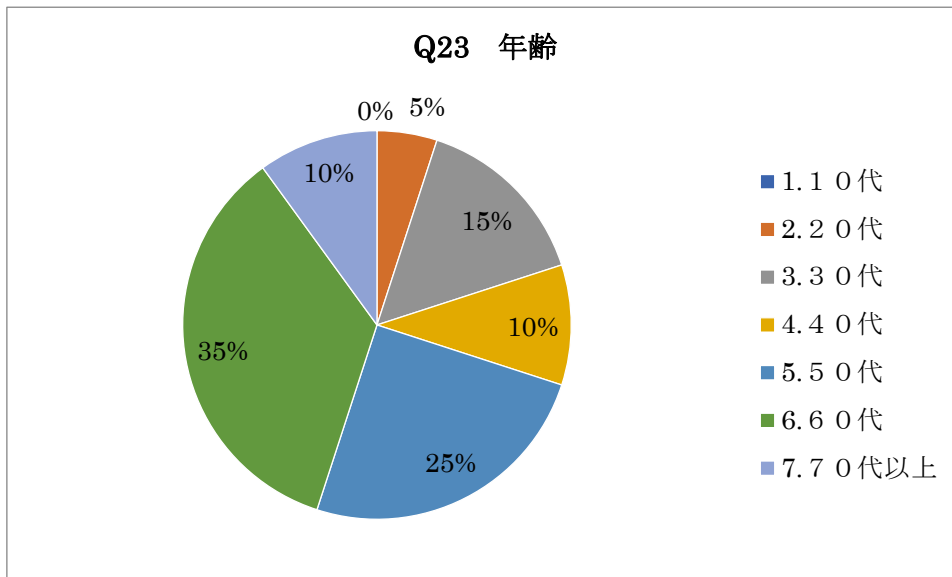


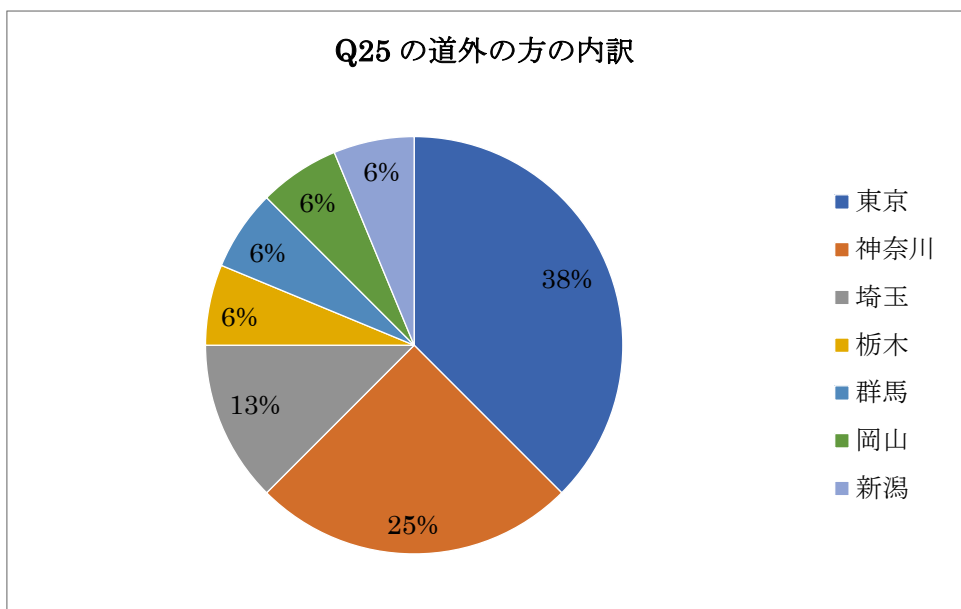
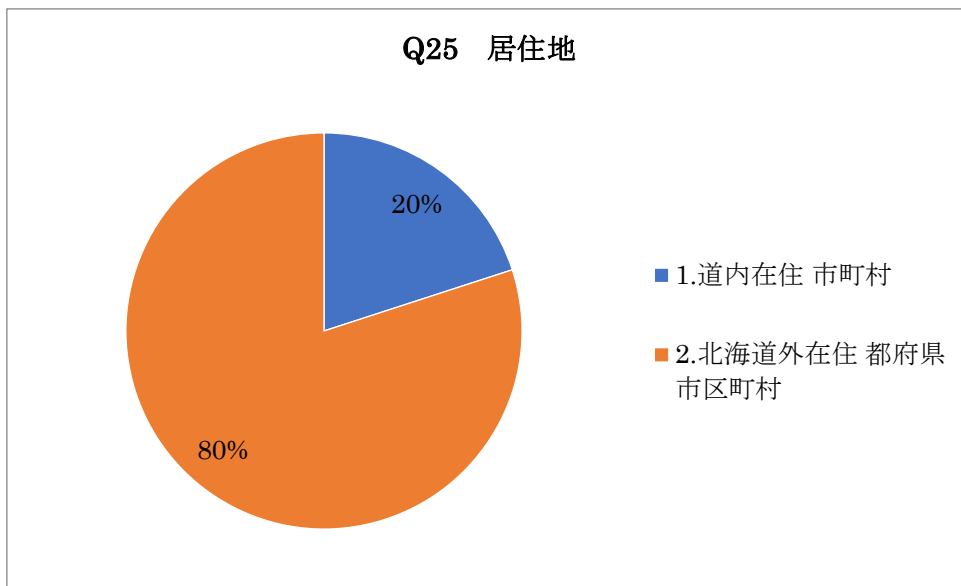
Q17 Q16で継続すべきと答えたその理由

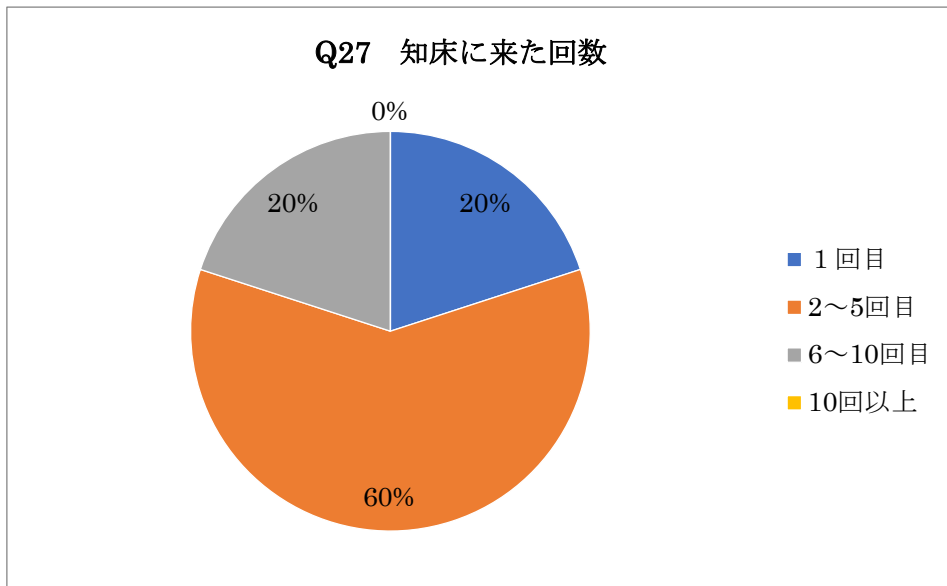
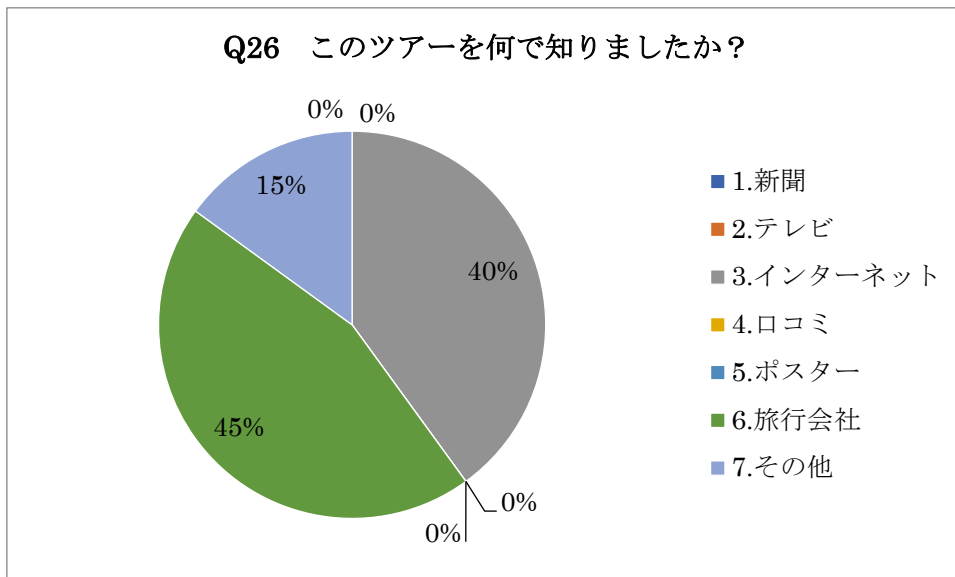


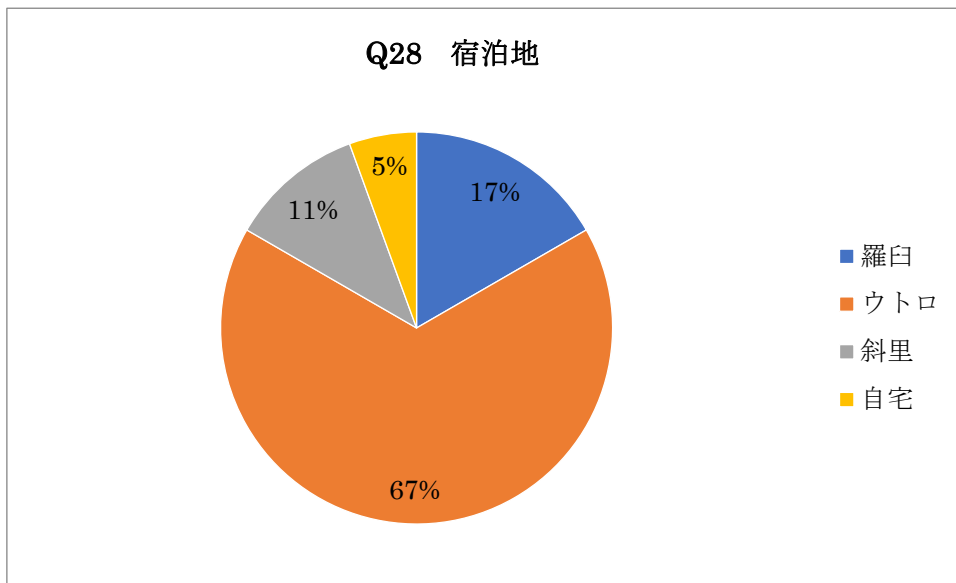
Q22 性別











知床半島先端部地区の利用に関するアンケート 集計結果

令和3年10月22日
環境省羅臼自然保護官事務所

調査方法

実施期間中におけるルサフィールドハウス（羅臼町北浜）来館者のうち、先端部利用者（トレッキング利用）を対象とし、アンケート用紙を渡し回答を収集した。

実施期間

	期間	回収枚数	備考
H29	7月15日～10月31日	27	
H30	5月1日～10月31日	52	赤岩ツアー実施
H31/R1	7月1日～10月31日	31	赤岩ツアー実施
R2	7月17日～10月31日	29	新型コロナウイルスの流行
R3	7月15日～10月11日	16	5月15日～6月20日、8月24日～9月30日ルサFHおよびVCは新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館
	合計	155	

質問事項

0. 年齢・性別
1. 先端部のトレッキングでの利用は何回目ですか。
2. トレッキングの最終到着予定地を教えてください。
3. トレッキングの日程を教えてください。
4. トレッキングに来た目的を教えてください。
5. 先端部地区のどのような所に魅力や価値を感じますか。
6. トレッキング前後の船の利用について教えてください。
7. あなたが利用したいと思う先端部地区の利用形態を教えてください。
8. レクリエーション目的で先端部地区を利用する人が守るべきルールマナーを定めた「知床半島先端部地区利用の心得」をご存知ですか。
9. 先端部地区を利用するにあたって、何で情報を得ましたか。
10. カブト岩の先にある赤岩地区に小型船で上陸し、活動範囲は同地区の海岸線のみとした上で、同地区における当時の漁業活動の歴史等を学ぶエコツアーが行われています。この取り組みについてご存知ですか。
11. 先端部地区の利用に関するご意見等ございましたら、自由にご記入ください。

知床半島先端部地区の利用に関するアンケート

知床半島先端部地区（相泊～知床岬、以下「先端部地区」）の利用状況を把握して今後の自然保護行政に生かすため、環境省羅臼自然保護官事務所では先端部地区を歩いて利用する（以下「トレッキング」）方を対象にアンケート調査を行っています。お手数ですが、ご協力下さいますようお願いいたします。なお、本アンケートにご記入いただいた内容は、アンケートの趣旨・目的以外には使用いたしません。

調査主体：環境省羅臼自然保護官事務所、北海道大学大学院農学研究院

記入日：令和3年 月 日

【年齢】 a. 10代 b. 20代 c. 30代 d. 40代 e. 50代 f. 60代 g. 70代 h. 80代

【性別】 a. 男性 b. 女性

1. 先端部地区のトレッキングでの利用は何回目ですか。（ ）回目
2. トレッキングの最終到達予定地を教えてください。（実際の到達地点ではなく、到達予定としていた地点を選んでください）
 - a. 観音岩まで b. トツカリ瀬まで c. モイレウシまで d. 近藤ヶ淵まで
 - e. 念仏岩まで f. カプト岩まで g. 知床岬まで h. 知床沼まで
 - i. 知床岳まで j. その他（ ）
3. トレッキングの日程を教えてください。
 - a. 日帰り b. 1泊2日 c. 2泊3日 d. 3泊4日 e. その他（ ）
4. トレッキングに来た目的を教えてください。（あてはまるものすべてを選んでください）
 - a. トレッキング自体を楽しむ b. 原生的な景観を見る c. 野生動物や植物を見る
 - d. 番屋などの文化資源を見る e. 漁業者との交流
 - f. その他（ ）
5. 先端部地区のどのような所に魅力や価値を感じますか。（あてはまるものすべてを選んでください）
 - a. 難所などの攻略 b. 自然景観 c. 野生動物や植物 d. 番屋などの文化資源
 - e. 漁業者との交流 f. 人があまりいない、観光に利用されていない場所であること
 - g. 静かであること h. その他（ ）

裏に続きます

6. トレッキング前後の船の利用について教えてください。
 - a. 利用しない b. 往路で利用 c. 復路で利用 d. その他（ ）

7. あなたが利用したいと思う先端部地区の利用形態を教えてください。（あてはまるものすべてを選んでください）

- a. 海岸トレッキング（全行程徒歩） b. 海岸トレッキング（一部行程で動力船を使用）
- c. 知床岳登山（知床沼含む） d. シーカヤック
- e. 瀬渡しによるサケ・マス釣り f. 往復動力船移動での先端部地区への上陸
- g. その他（ ）

8. レクリエーション目的で先端部地区を利用する人が守るべきルールやマナーを定めた「知床半島先端部地区利用の心得」をご存知ですか。

- a. 内容も知っている b. 知っているが内容はわからない c. 知らなかった

9. 先端部地区を利用するにあたって、なにで情報を得ましたか。（あてはまるものすべてを選んでください）

- a. 知床半島先端部地区利用の心得 b. Webサイト「シレコロ」
- c. ルサフィールドハウスでのレクチャー d. 羅臼ビジターセンターでのレクチャー
- e. その他のインターネットの情報 f. 知人から聞いて
- g. その他（ ）

10. カプト岩の先にある赤岩地区に小型船で上陸し、活動圏は同地区の海岸線のみとした上で、同地区における当時の漁業活動の歴史等を学ぶエコツアーが行われています。この取組についてご存じですか。

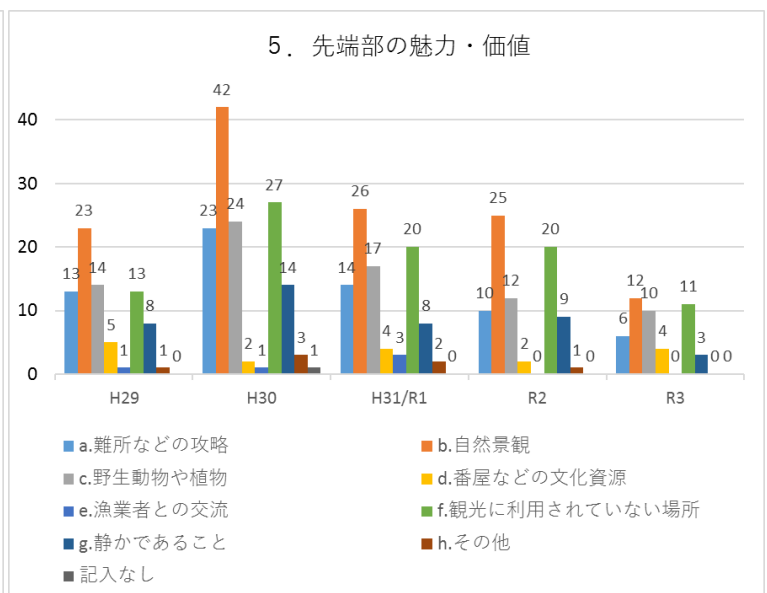
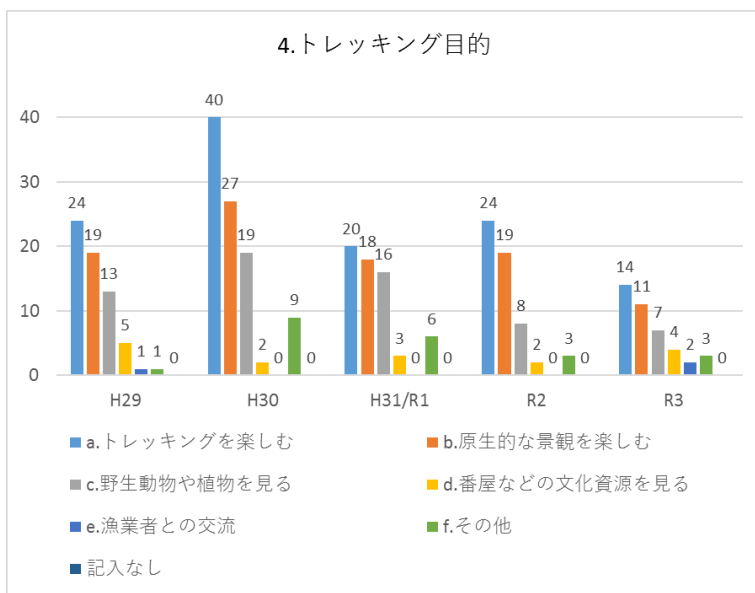
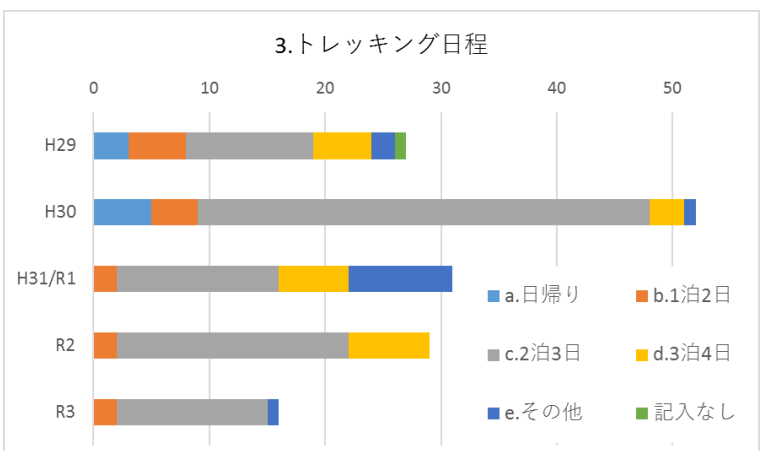
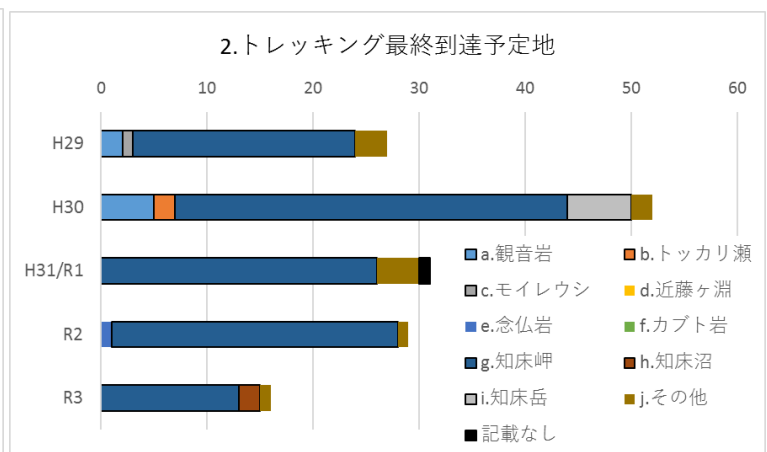
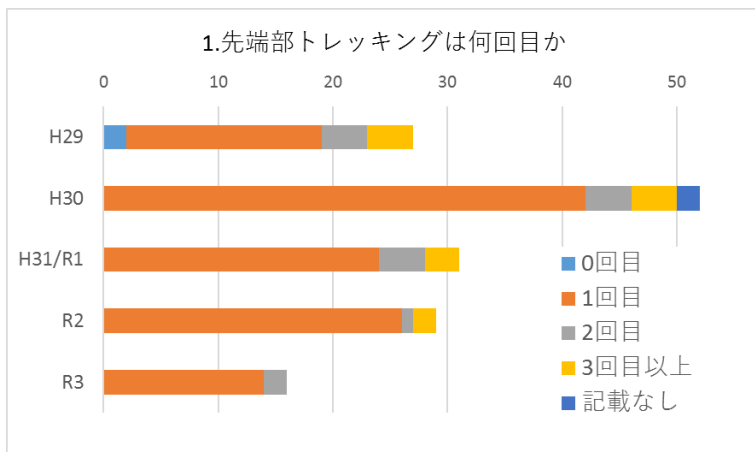
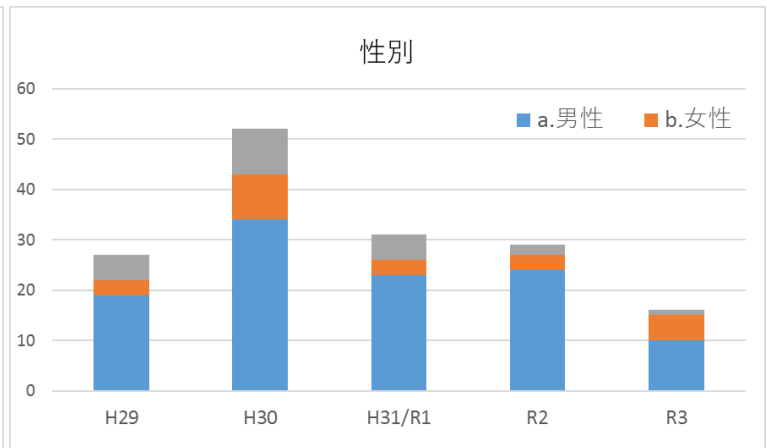
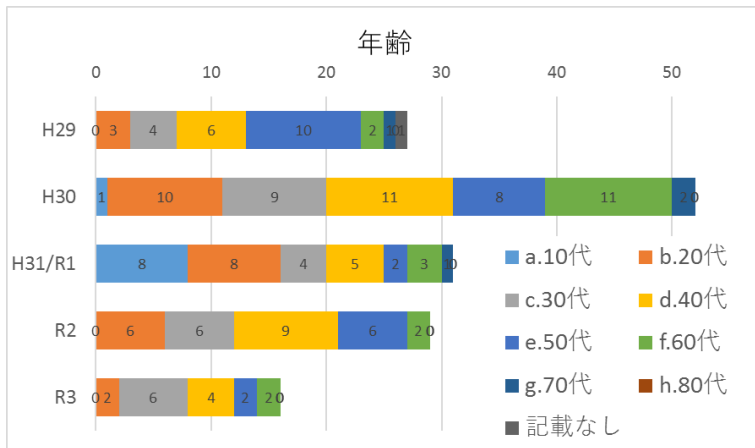
- a. 知っていた b. 知らなかった

11. 先端部地区の利用に関するご意見等ございましたら自由にご記入ください。

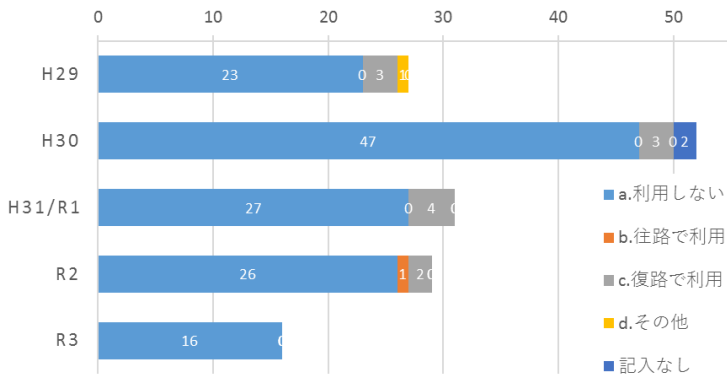
回答は、①ルサフィールドハウスのスタッフ、②知床羅臼ビジターセンターのスタッフ、③ルサフィールドハウスのポスト、④相泊に設置された入林箱のいずれかに提出下さいますようお願いいたします。

ご協力ありがとうございました

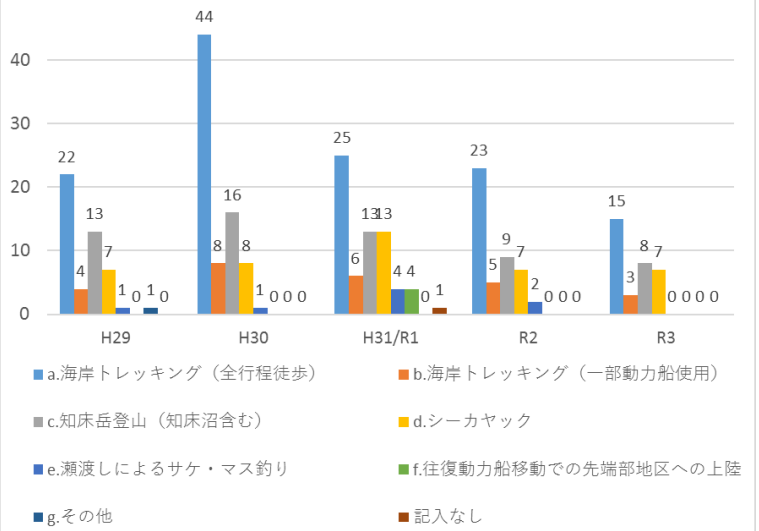
調査結果



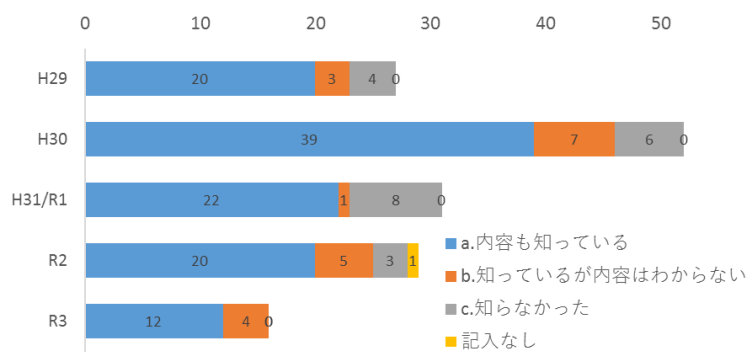
6. 船舶利用



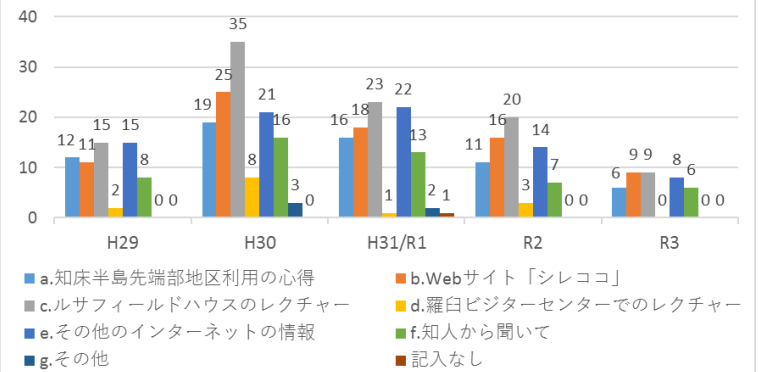
7. 希望利用形態



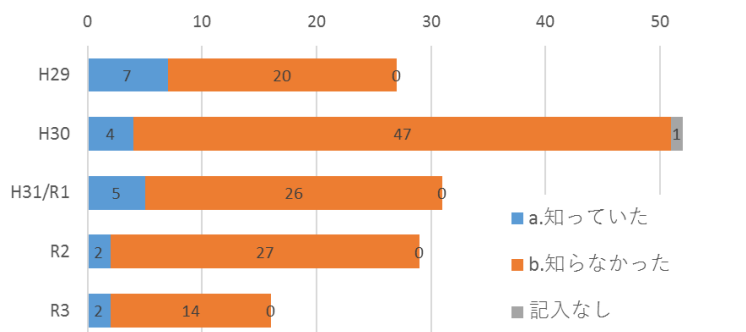
8. 「知床半島先端部地区利用の心得」の認知



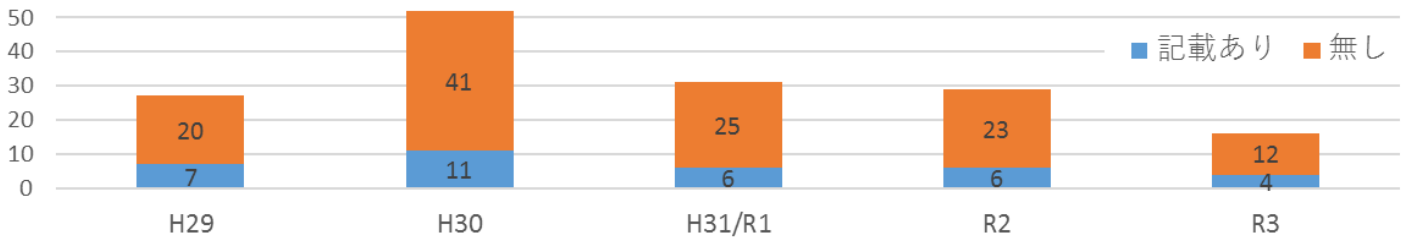
9. 情報収集媒体



10. 赤岩エコツアーの認知



11.自由回答とりまとめ



H29	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海岸歩きをしてみたいです。 ・ マナーを持って行動すること。謙虚な気持ちを持つこと。人に頼らず自分の意志で動くこと。 ※ 赤岩への動力船での上陸ツアーは反対！絶対に！自力で辿り着いてこそ岬である。岬の神秘性が無くなる。苦労しての岬。ご馳走。 ・ 丁寧に説明いただき、ありがとうございました。 ・ 貴重な自然を自分の目で確かめてみたい。 ・ 情報ありがとうございます。大変助かります。 ・ 動力船の上陸制限強化をお願いしたいと思います。
H30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前に必要な情報を得ることができました。大変参考になりました。 ・ ごていねいな説明をいただきありがとうございました。 ・ 知床岬最高です！ ※ エコツアーは止めてほしい。苦労して赤岩まで行って楽しめた人たちに合った時、何ともいえない気分になる。 ・ 自然のFto (?) を今後ともアピールしてほしい。 ・ 楽しんでいます。 ・ 行ってきてからでないと魅力・価値は分からない。 ・ 情報を教えてもらい助かった。 ・ 何度もルサフィールドハウスに電話しました。対応ありがとうございます。 ・ ルートがわかりづらいところもあり、気象、海象の情報共有をビジターセンター等で頂けると助かります。 ・ 静かで良いとこ知床岬。
H31/R1	<p>自然の厳しさを体験でき、貴重な体験でした。漁師の方々に大変お世話になりました。地元の方と交流し、沢山学ぶことができました。今回のトレッキングは一生の思い出になりました。本当にありがとうございました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ エコツアーでの上陸は何があっても反対!!!!!!楽しんで上陸はありえない!!!!!! ・ 今の現状を維持していただけたら嬉しいです。沢山入り過ぎない。心得のある人だけ立ち入る... ・ 現状を維持していただけたら嬉しいです。 ・ 次回は頑張ります。 ・ 世界遺産のハイマツを折って進む藪漕ぎは良くないと思いました。
R2	<ul style="list-style-type: none"> ・ web上の情報が少なかったので充実してほしい。 ・ お陰様で安全に楽しめました。ありがとうございました。 ・ すばらしい岬でした。 ・ 人と自然の共存（共生）をを考え続けたい。 ・ 特にありません。楽しかったです。 <p>赤岩地区への動力船での上陸を行うエコツアーは絶対に反対です。2019年からは赤岩での昆布番屋は不在となって番屋が残るのみ。当時の漁業活動の歴史等を学ぶなら、番屋が現存している崩浜で良いのではないのでしょうか。赤岩まで行っても上陸せず海から眺めるだけにすべきです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 一般人は赤岩上陸させないのが知床岬のためと考えます。但し相泊から徒歩で自然と向き合って苦労と危険を自己責任で行う人達だけが赤岩へたどりつく事、足を踏み入れる事とするべきと考えます。赤岩及び知床岬は特別な地区とするべきと考えます。日本の他と異なるフィールドのため。
R3	<ul style="list-style-type: none"> ・ もう少し情報が欲しかった ・ 自己責任の範囲を超える状況（天候・熊・ケガetc）がおきたときの、SOSBOXのような、SOS手段があれば心強いなと思いました。携帯電波状況の注意喚起なども入り口にあればと思います。 ・ 朽ちていく施設（漁港や番地など）は修復せずにそのままの形で保存するとしても、看板などで施設の説明がされると、文化的な面白みに深みが増すかなと思いました。 ・ カブト岩の高巻きの支点を作っただけでしたら皆さんが安全に利用できるのもよろしく願います。

注：※のコメントは先端部トレッキング回数の増加率等から同一人物による可能性あり。